

これからの小中学校についての意見交換会記録

【令和5年1月12日（木）北部多目的センター】

【これからの小中学校に関すること】

- ・学校がなくなるということは、住むところではないというのが一般的な認知である。だから、非常に不安を持っている。
- ・浜松市北区三ヶ日町は中学校1校であるが、小学校は点在させるような、地域に密着したような形になっている。そういうところを研究して、我々に説明してほしい。
- ・最初から統合ありきの話が急に出された。統合の話は、いろんな議論をしてから決めていくと私は理解していたので、困惑している。
- ・未来の湖西を創る子どもという話で、目標は優しい人、たくましい人、志のある人、言葉はすごくいいが、具体的にはわからないことばかりである。
- ・多様性のある人材を作るとするのは、大人でもなかなか難しいのに、小さい子にできるのか。子供たち自身でそんなことはできない。学校の先生と関わり合いがきちんとできて初めてできる。それを大人数でできると思っていること自体がおかしい。少人数であるからこそできる話である。
- ・湖西市の教育をどういう方針を持って、具体的にどういう形でやってきて、その結果どうだったのか説明するべきである。それをなくして、学校の統廃合などありえない。学校施設は統廃合しただけで子供達が変わるわけではない。

【意見交換会に関すること】

- ・今まで出された意見をまとめて出してもらえると多少違った意見が頭の中に入ってくると思う。
- ・この意見交換会は、教育委員会と地域住民との意見交換会ということでここまで来ていたが、いつの間にか、市長部局と地域住民の話のような感じで、市長部局が主体のような感じになっている。
- ・これまで何回か意見交換会があったが、我々が意見を申し上げた内容というのは確認できるのか。
- ・自治会長のとき四つの自治会から出した要望書に対する市長の回答で、2021年度を初年度とする10年間の次期湖西市総合計画の中で、北部地区の将来のあるべき姿、ビジョンを明らかにするとなっていた。意見交換会で、湖西市総合計画にどういう盛り込みをされているのか説明を求めたが、市長ではなく教育委員会から、これから一緒にやっという答弁をいただいた。そこに矛盾がある。

- ・湖西公共施設再配置基本計画、個別計画が出てきたことからこの話は始まっている。公共施設の 20%減らすため、知波田小学校、東小学校、湖西中学校を統合し、面積を削減しようというのが目標となっていた。今回の内容というのは、児童生徒数が少なくなったから統合しようとなっている。話の流れに繋がりが無い。一貫性がない。矛盾を感じる。
- ・学校の中身をあまり知らないのに、観念だけで話をしていくと間違った方向に行ってしまう。観念とか憶測とか想像で話をしてはいけない。
- ・市民複合施設の関係で、無作為で抽出して意見もいろいろ検討されたことがあった。市長部局としてこういう検討会議を持たれていく、それで、1年ぐらい時間をかけて、じっくりと検討するようなことを考えてほしい。

【適正化検討委員会報告書に関すること】

- ・湖西市立学校教育施設適正化検討委員報告書の内容、進め方に問題がある。一体化ありきできていて、湖西中、知波田小、東小を一体化する、これ一案しか出ていない。そこが大きな問題である。
- ・報告書の終わりに「若い世代をターゲットとし、小規模校となっている地域に住みたくなる政策が必要です」と書いてあるが、これについては、全然議論されていない。

【市の施策に関すること】

- ・人材を育成しなければ日本はダメになるという時代に、子供が減るから学校をなくして、もっと湖西市の人口を減らそうという方向に行くのは間違いである。
- ・知波田地区、北部地区の問題点は、人口減少、子供たちの減少、地域経済の衰退、農業の衰退、後継者の不足である。町の存続危機、非常に危機意識を持っている。
- ・湖西中の管内において、2015年から2020年の人口増減率がマイナス9%、年率換算1.5%減少。湖西市全体だとマイナス3%、年率で0.5%なので、湖西中関連については、約3倍の減少をしている。農村部の減少が非常に多い。
- ・平成23年に都市計画法と農地法の改正が行われたことよって分家住宅が非常に建てにくくなった。そういった状況がこの6歳から10歳までの減少データで伺える。1歳から5歳までが、また減少しているが、これは、統合問題が出てからである。
- ・持続可能なまちづくりのために、どうしてこういう状況になったのか、その原因を追究してもらいたい。これがスタート地点である。そのときに、市街化調整区域、これを撤廃してもらいたい。

- ・後継者の問題があるから、住宅建設の条件緩和、建設促進をしてもらいたい。
- ・大知波地区、リッチランドそれから松見ヶ浦荘園などを整備すれば、人口減少の問題はある程度救える問題である。
- ・北部地区の将来のあるべき姿、ビジョンを早期に明確にし、発展的なところもあるという希望を持たせてほしい。不安を払拭してもらいたい。
- ・3世代の同居、近居。分家住宅、親と子の助け合いなどが非常に大切だと思う。孫の世話をみるといったことが近くでできる環境を整えてもらいたい。
- ・湖西市は地価が高いので、みんな浜松、豊橋へ行ってしまう。コンパクトシティの問題は、さらに地価を高くしようとしている。そして、市街化調整区域は、こういう構想が出てから、価値がなくなっている。湖西市の政策は、もの作りの世界から見たら50年遅れている。
- ・市街化区域を先行させて、市街化調整区域は後というのは、やめてほしい。あちらが終わったらこちらでは、未来永劫できない。同時並行で進めてほしい。
- ・話の発端は湖西市の人口が減る、税収が減る中で、建て替えなければいけない設備があり350億円ぐらいかかるという話であった。一方で、毎年12億円も湖西病院のために補助している。これがなければプラマイゼロである。そういうことも片付けしないで、統合ありきとか、湖西市の人口を増やす気が全然ないと思う。
- ・医療費高校生まで無料など大変助かっているが、湖西市として、もう少し知恵を出して子育て支援をもっと行い、住みたいと思う魅力ある街、そういうまちづくりをしてほしい。
- ・子供たちがいなくなれば町は消滅する。そうしないために何をするかというのは、湖西市として考えなければいけない。湖西市の覚悟が見えない。まずは湖西市を、北部地区をどうやって栄えさせて、人口を増やすかという話を、もっと考えてほしい。